

<p>【技術の名称】 Y's プレピット -スラブにおける仮設開口用簡易型枠工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第16-18号 性能証明発効日：2016年9月28日</p> <p>【取得者】 矢作建設工業株式会社</p>
--	---

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造等の建物の床スラブにおいて、施工中に仮設部材を下階から上階へ荷揚げするために一時的に設けられる仮設開口部を、ラス型枠を用いて形成する工法である。ラス型枠のかぶり確保および固定を目的とした栈木をラス型枠の上下に設置し、コンクリート打設後に栈木を解体することにより断面に凹凸が形成される。この断面によって、開口閉塞部のコンクリートの抜出しを抑制し、また凸部の表面がラス型枠であるため後打ちコンクリートとの高い一体性を確保することを可能としている。

【技術開発の趣旨】

従来の仮設開口部の設置、復旧方法では型枠工事や鉄筋工事における施工性が悪く、手間やコストが掛かり、品質にもばらつきがある場合が多い。本技術はこの課題を解消することを意図して開発され、容易に仮設開口部の設置、復旧が可能となる工法として開発されている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
 申込者が提案する「Y's プレピット 設計・製作・施工マニュアル」に従って設計・施工された仮設開口部を後打ちコンクリートによって閉塞された鉄筋コンクリート造床スラブは、無開口スラブと同等の長期許容耐力、ひび割れ性能を有する。また、仮設開口部を閉塞するまでの施工期間においても同等の性能を有する。

○適用範囲

仮設開口部周辺が現場打ちコンクリート造であり、厚さ180mm以上360mm以下、短辺有効スパン長さ3,000mm以上の周辺固定スラブに適用。周辺スラブは、設計基準強度 F_c が 24N/mm^2 以上の普通・高強度コンクリートであること。



写真1 ラス型枠

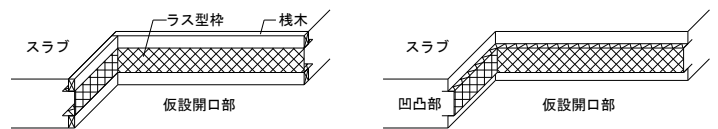


図1 仮設開口部断面

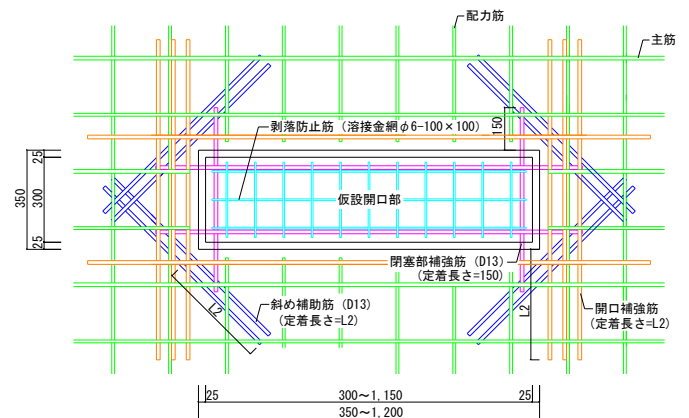


図2 配筋詳細

【本技術の問合せ先】

矢作建設工業株式会社 地震工学技術研究所 担当者：田口 孝 E-mail：t-taguchi@yahagi.co.jp
 〒480-1342 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1533-74 TEL：0561-56-5828 FAX：0561-56-5829